

景気ウォッチャー調査

平成12年9月調査結果

平成12年10月17日

経済企画庁調査局

調査の概要

1. 調査の目的

地域の景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々の協力を得て、地域ごとの景気動向を的確かつ迅速に把握し、景気動向判断の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の範囲

(1) 対象地域

北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の6地域を対象とする。各地域に含まれる都道府県は以下のとおりである。なお、平成12年1月調査は関東を除く5地域を対象とした。

地域	都道府県
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、新潟
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	静岡、岐阜、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
全国	上記の北海道、東北、関東、東海、近畿、九州の計

(2) 調査客体

家計動向、企業動向、雇用等、代表的な経済活動項目の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の適当な職種の中から選定した1地域当たり100人、合計600人である。調査客体の地域別、分野別の構成については、別紙を参照のこと。

3. 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1)の理由
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3)の理由
- (参考) 景気の現状に対する判断（水準）

4. 調査期日及び期間

調査は毎月、当月時点であり、調査期間は毎月25日から翌月1日である。

5. 調査機関及び系統

経済企画庁が主管し、各調査対象地域に地域ごとの調査を実施する「地域別調査機関」を1か所ずつ設けるとともに、各地域別調査機関による地域ごとの調査結果を集計・分析する「取りまとめ調査機関」を1か所設け、これらの機関に本調査業務を委託して実施したものである。

(取りまとめ調査機関)		財団法人	日本経済研究所
(地域別調査機関)	北海道	株式会社	北海道二十一世紀総合研究所
	東北	財団法人	東北開発研究センター
	関東	財団法人	日本経済研究所
	東海	株式会社	東海総合研究所
	近畿	株式会社	大和銀総合研究所
	九州	財団法人	九州経済調査協会

6. 有効回答率

地域	調査客体	有効回答客体	有効回答率	地域	調査客体	有効回答客体	有効回答率
北海道	100人	98人	98.0%	東海	100人	96人	96.0%
東北	100人	85人	85.0%	近畿	100人	91人	91.0%
関東	100人	92人	92.0%	九州	100人	94人	94.0%
				全国	600人	556人	92.7%

目 次

概要	1
1．景気の現状に対する判断	2
(1) 全国の動向	2
(2) 各地域の動向	2
(3) 景気の現状に対する判断理由	3
2．景気の先行きに対する判断	14
(1) 全国の動向	14
(2) 各地域の動向	14
(3) 景気の先行きに対する判断理由	15
(参考) 現在の景気水準に対する判断	24
(別紙) 景気ウォッチャー(調査客体)の地域別・分野別構成	25

利用上の注意

1. 景気ウォッチャー調査は、本年より新規に行う調査であることから、当面の間、試行的に実施するものであり、今後、必要に応じ変更することもあり得る。
2. 分野別の表記における「家計動向関連」、「企業動向関連」、「雇用関連」は、各々家計動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、企業動向関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断、雇用関連業種の景気ウォッチャーによる景気判断を示す。なお、このうち雇用関連業種は、主として企業の求人動向に関連した業種である。
3. 表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、計と内訳は一致しない場合がある。

D I の算出方法

景気の現状、又は、景気の先行きに対する5段階の判断に、それぞれ以下の点数を与え、この点数で回答結果の構成比(%)を加重平均して、D I を算出した。

評価	良くなっている (良い)	やや良くなっている (やや良い)	変わらない (どちらとも言えない)	やや悪くなっている (やや悪い)	悪くなっている (悪い)
点数	+ 1	+ 0 . 7 5	+ 0 . 5	+ 0 . 2 5	0

概 要

1. 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断は、以下のとおりであった。

図表A 全国における景気の現状判断D I
(D I) 平成12年

	7月	8月	9月
合計	50.4	48.8	47.8
家計動向関連	48.8	46.2	44.7
企業動向関連	52.3	52.6	53.5
雇用関連	60.0	62.5	59.4

図表B 各地域における景気の現状判断D I
(D I) 平成12年

	7月	8月	9月
全国	50.4	48.8	47.8
北海道	49.7	45.5	46.2
東北	46.0	48.1	48.2
関東	50.3	47.1	47.3
東海	53.3	55.7	53.1
近畿	48.6	47.5	48.9
九州	54.5	49.2	43.1

2. 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の景気の先行きに対する判断は、以下のとおりであった。

図表C 全国における景気の先行き判断D I
(D I) 平成12年

	7月	8月	9月
合計	51.3	51.2	52.6
家計動向関連	49.3	47.9	50.0
企業動向関連	54.4	57.7	56.7
雇用関連	61.1	63.6	64.1

図表D 各地域における景気の先行き判断D I
(D I) 平成12年

	7月	8月	9月
全国	51.3	51.2	52.6
北海道	50.5	47.2	49.0
東北	49.5	49.7	52.9
関東	52.2	53.7	54.6
東海	53.0	55.7	56.3
近畿	50.8	51.7	53.3
九州	51.6	49.5	49.7

1. 景気の現状に対する判断

3か月前と比較しての景気の現状に対する判断は、以下のとおりであった。

(1) 全国の動向

分野別の景気の現状判断D I

図表1-1-1 各分野における景気の現状判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
合計	55.2	50.2	50.1	50.4	48.8	47.8
家計動向関連	52.9	47.4	48.2	48.8	46.2	44.7
小売関連	51.2	44.4	47.8	45.5	43.5	43.6
飲食関連	48.3	44.6	42.9	48.6	43.9	39.2
サービス関連	57.0	51.1	50.4	53.1	51.9	47.9
企業動向関連	59.4	57.4	51.7	52.3	52.6	53.5
雇用関連	65.0	56.4	62.5	60.0	62.5	59.4

(2) 各地域の動向

地域別の景気の現状判断D I (各分野計)

図表1-2-1 各地域における景気の現状判断D Iの推移表 (各分野計)

(D I)	平成12年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全国	55.2	50.2	50.1	50.4	48.8	47.8
北海道	44.0	43.3	49.5	49.7	45.5	46.2
東北	56.2	50.8	48.2	46.0	48.1	48.2
関東	55.7	50.3	50.0	50.3	47.1	47.3
東海	58.2	56.6	54.1	53.3	55.7	53.1
近畿	58.1	47.1	48.6	48.6	47.5	48.9
九州	59.7	53.2	50.0	54.5	49.2	43.1

地域別の景気の現状判断D I (家計動向関連)

図表1-2-2 各地域における景気の現状判断D Iの推移表 (家計動向関連)

(D I)	平成12年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全国	52.9	47.4	48.2	48.8	46.2	44.7
北海道	40.3	39.6	49.0	47.5	43.3	42.5
東北	54.6	46.5	45.7	42.6	44.9	45.1
関東	55.1	48.9	48.9	49.2	45.2	42.7
東海	54.9	57.3	52.8	50.7	52.2	48.9
近畿	56.7	43.4	45.5	48.8	43.0	45.9
九州	56.8	48.5	46.7	54.0	48.5	43.2

(3) 景気の現状に対する判断理由

景気の現状に対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

北海道

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由	
家計動向 関連	良くなっている	一般レストラン(スタッフ)	・団体客の増加によって、来客数、売上ともに増加し、客単価が上昇している。	
		一般小売店〔土産〕(店員)	・夏期の繁忙期が終わったが、例年以上にツアー客が多く、客単価も上昇した。	
	やや良くなっている	百貨店(売場主任)	・春夏物に比べ、秋物の購買意欲が高く、特にミセス層が良い。	
		高級レストラン(スタッフ)	・大型スーパーの開店によるスーパー関係の宿泊客数の増加、大型の大会開催等による観光客の来客数の増加によって、ホテル全体が活況を呈している。	
		高級レストラン(スタッフ)	・観光関連の来客数がようやく平年程度に回復している。	
		観光型ホテル(役員)	・洞爺湖温泉街が再開し、定山溪の来客数も安定的に増加している。	
		旅行代理店(従業員)	・先行受注が良くなっている。	
		旅行代理店(従業員)	・法人客の売上は回復していないが、個人客の売上が好調に推移している。	
		旅行代理店(従業員)	・旅行の受注状況が増加している。	
		変わらない	商店街(代表者)	・高額商品がわずかに動き出しているが、全体的にみると低価格の商品が売上の中心になっている。
	商店街(代表者)		・3か月前は有珠山噴火の影響があり、今月はオリンピック開催の影響があり、売上の悪い状態が変わっていない。	
	コンビニ(エリア担当)		・若い人を中心に、必要な物しか買わない傾向が強くなっている。	
	衣料品専門店(店長)		・依然として低価格商品を購入する客が多い。	
	家電量販店(店長)		・客単価が上昇しておらず、単品買いも多い。	
	家電量販店(店員)		・オリンピック期間中であったが、期待していた効果が出ず、高額商品も売れていない。	
	乗用車販売店(従業員)		・新型車の売上は好調に増加しているが、既存車が今一つ伸びていない。	
	乗用車販売店(従業員)		・高額商品の売上が軒並み減少している。	
	高級レストラン(スタッフ)		・来客数は増加したが、ディナーの客単価が著しく低下し、全体として売上が増加していない。	
	観光名所(職員)		・タクシーの空車率が変わっていない。	
	タクシー運転手		・タクシーの利用客数が日中、夜間ともに減少したままで回復していない。	
	タクシー運転手		・スーパーへの買物、高齢者の通院など、必要に応じた利用はある程度あるが、サラリーマンによる社用での利用がほとんどない。	
	タクシー運転手		・観光地での利用客数が減少している。	
	やや悪くなっている		商店街(代表者)	・郊外に大型店が出店したため、商店街の人通り、交通量が減少している。
			百貨店(売場主任)	・婦人服飾雑貨の売上は好調だったが、ヤング、紳士服は不振であり、店全体でみると来客数、売上ともに減少している。
			百貨店(売場主任)	・プロ野球球団の優勝セールで、売上を維持しているが、これがなければ、例年の9割程度の売上であったとみられる。
			スーパー(店長)	・来客数は変わらないが、客単価、商品単価が低下している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		コンビニ（エリア担当）	・大型スーパーのオープンや他のコンビニの出店により、外部環境が厳しくなっている。
		コンビニ（エリア担当）	・長雨の影響で来客数が減少しており、販売促進の効果も弱まっている。
		家電量販店（フロア－長）	・3か月前と比べて、来客数に変化はないが、高額商品の動きの低調等により、客単価が低下しており、売上も減少している。
		自動車備品販売店（店長）	・高額商品のタイヤ、オーディオの売上が減少している。
		一般レストラン（スタッフ）	・オリンピックの開催やプロ野球の優勝争いで外出する機会が減少したようであり、来客数が減少している。
		スナック（経営者）	・周辺にある低料金の居酒屋も来客数が少なく、その2次会等で利用されるスナックの来客数はもっと少ない。
		タクシー運転手	・繁華街からの乗車で、接待関連の客が大幅に減少している。
	悪くなっている	百貨店（売場主任）	・ヤング、ミセスともに秋物商品の動きが悪い。
		スナック（経営者）	・今月の半ばまでは、まずまずの来客数だったが、オリンピック期間に入ってから客足がぼったり途絶えている。
		スナック（経営者）	・観光客が非常に減少し、2次会、3次会での来客数も減少した。
		その他飲食〔酒卸〕（店長）	・オリンピックの開催と天候不順のため、人出が少ない。
企業動向関連	良くなっている	非製造業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・各地域の営業所の売上等が増加している。
	やや良くなっている	家具製造業（経営者）	・高額商品に動きが出始めている。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・今月の半ば過ぎまで売上がやや悪かったが、プロ野球球団の優勝セールの効果で持ち直し、全体としては変わらない。
		非製造業〔建設機械リース〕（従業員）	・客の機械、車両などの購入意欲が低調のままで、3か月前と変わっていない。
	やや悪くなっている	非製造業〔建設機械リース〕（支店長）	・客の購入意欲の低下がみられ、引き合い、荷動きともに減少している。
	悪くなっている	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・取引先企業の売上増加により、営業職の求人が増加している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・パート、アルバイトの求人が増加しており、企業の求人意欲の上昇がみられる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人情報誌の伸び率が高く、伸び悩んでいた正社員の求人も今月から増加している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・これから業務量が増加するので、求人を増やす企業もあれば、先行きが分からないので、短期契約にする企業もある。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・求人広告の掲載件数は、3か月前と比べて増加しているが、増加率が低下している。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新聞求人広告は増加しているが、地元大手企業の採用はなく、新聞広告の申込みもない。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

東北

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	百貨店(売場主任)	・催事の結果、売上が増加し、8月の期末決算は20年ぶりの好成績である。 ・プロ野球球団の優勝セールによって客数が22%増加し、売上も前年度比2ケタ台の伸びを示している。	
		百貨店(売場主任)	・食品の売上は悪いが、婦人衣料の売上は伸びている。	
		百貨店(企画担当)	・先月まで客数が前年度比で80%であったが、今月は前年度を上回っている。	
		インテリア専門店(統括)	・催事によって来店客数が増えている。	
		一般レストラン(経営者)	・9月に入り、今年初めて前年並みの水準となった。 ・客単価は低下しているものの、客数が伸びている。	
		都市型ホテル(スタッフ)	・単価の低下が続いているが、客数は増加している。 ・宿泊部門では、今期初めて前年実績を確保している。 ・デパートの惣菜部門は客数が増加しており、単価も上昇している。	
		旅行代理店(従業員)	・紅葉シーズンを前に、旅行の申込が若干増加している。	
		タクシー運転手	・走り回らなくても乗客がいるようになった。	
		住宅販売会社(経営者)	・受注が増加しており、展示場への来場客や建築プランを依頼する客も増えている。	
	変わらない	商店街(代表者)	・オリンピック中継等もあり、客数はかなり減少している。	
		商店街(代表者)	・プロ野球球団の優勝セールなどで活況を呈している大型店がある一方で、多くの中小の店は前年度比をクリアしていない。	
		百貨店(売場主任)	・秋物衣料の動きが今一つである。	
		百貨店(総務担当)	・客数は増加しているが、必要な物だけしか買わないため、客単価は変わらない。	
		スーパー(企画担当)	・客単価、特に一品単価が前年割れを続けている。 ・客による店の使い分けが進み、個別店舗単位では厳しい状況が続いている。	
		コンビニ(エリア担当)	・全体的に客単価が低下傾向にあるが、キャンペーン商品や特売商品によって売上が増加している。	
		その他専門店[酒類](経営者)	・売上は、特売では良くなるものの、通常は悪く、消費者の財布のひもは依然として固い。	
		高級レストラン(スタッフ)	・宿泊部門の稼働率は高くなっているが、地元客の利用状況が悪いため、客単価は低下傾向にあり、客数も減少している。	
		観光型ホテル(経営者)	・9月は観光シーズンの端境期であり例年並みであるが、徐々に団体客が増えてきている。	
		都市型ホテル(経営者)	・仕入品の支払期日を早めて欲しいという取引先がある。	
		都市型ホテル(スタッフ)	・宴会数が増えない一方で、客数の減少もなく、全体として変わらない。	
		遊園地(経営者)	・団体客の動向はほぼ横ばいであるが、週末の悪天候や夏休みの反動で一般客が伸びない。	
		旅行代理店(従業員)	・家族連れ、マイカー利用の旅行客が増えている。 ・予約が直前にならないと入らない傾向にあり、天候が悪いと受注が減少する。 ・オリンピック以降、受注が減少している。	
		やや悪くなっている	百貨店(企画担当)	・オリンピックの開催と同時に客数が減少したため、売上が減少している。
			スーパー(店長)	・客数は前年並みであるが、単価の低下傾向が続き売上が減少している。 ・他社競合店においても、好調な店舗は見受けられない。
	スーパー(従業員)		・客数が4~5%減少しており、客単価の低下も続いている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		衣料品専門店（経営者）	・残暑の影響で、秋物の動きが悪い。
		衣料品専門店（店長）	・給料日前の週末の売上が、前年の半分程度にまで落ち込んでいる。 ・消費者の購買行動が、給与支給額に敏感になっており、スーツの買い控えがみられる。
		乗用車販売店（従業員）	・中古車市場では、年式の古い車や、低価格の車の売行きが良くなっている。
		一般レストラン（経営者）	・転勤時期や後半のオリンピックの影響で、売上は良くない。
		その他飲食[和食]（経営者）	・人通りが少なくなり、客の動きも鈍くなっている。 ・単価の低下傾向が続いている。
		観光型ホテル（経営者）	・8月中旬以降、客数の減少が続いている。
		競輪場（職員）	・競輪の売上が、引き続き落ち込んでいる。
	悪くなっている	スーパー（経営者）	・買上単価が4～5%下落し続けている。
		スナック（経営者）	・同じビルのテナントが6月以降2店閉店している。 ・オリンピックが始まった影響で売上が激減している。
		競馬場（職員）	・良いレースを提供しても売上に反映されず、客数も減少している。
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	・例年みられる盆過ぎの出荷量の低下が、今年はない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・この先1か月は加工関連の仕事で120%の操業となっている。
	変わらない	電気機械器具製造業（従業員）	・これと目立った動きはなく、特に変化を感じない。
		広告代理店（従業員）	・受注のペースに大きな変化がない。
		輸送業（経営者）	・流通量が多くなってきているが、輸送料金の低下はまだ続いている。
	やや悪くなっている	新聞販売店[広告]（店主）	・節約のため新聞購読を止める企業が出ている。
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	新聞社[求人広告]（担当者）	・このところ求人広告の伸びが、前年比30%台まで上昇している。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・自治体関連の求人広告が増えてきている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・相変わらず受注は活発であるが、欠員補充のための派遣利用である。
		人材派遣会社（社員）	・一部メーカー以外は、求人がない状況である。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

関東

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	百貨店（売場主任）	・プロ野球球団優勝セール初日には、日ごろ来店しない地域からの来客があり、売上は大きく増加した。
		コンビニ（店長）	・売上はやや増加している。
		一般レストラン（店長）	・様々な新規出店がみられる。
		旅行代理店（従業員）	・旅行者の宿泊日数が伸びている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
	変わらない	住宅販売会社（従業員）	・展示場への来客数、商談が増加しつつあるので、やや良くなっている。
		百貨店（買付担当）	・最高気温が30度を超える残暑が20日ごろまで続き、婦人服の秋物商品は非常に厳しい。さらに、20日以降はオリンピックの影響で来客数、売上が大きく減少し、悪い状態が変わらない。
		スーパー（経営者）	・商品単価、買上単価は依然低下しており、1人当たり買上点数もやや減少気味である。ただし、良い商品は売れるので、全体として変わらない。
		スーパー（店長）	・衣料品が不振で、住居関連のパソコン、音響関連商品の売上が増加してもカバーできない。 ・夏の異物混入事件以来、食品の売上が減少しており、売上全体は回復していない。
		衣料品専門店（従業員）	・商品の低価格化により、購入単価は低下している。
		家電量販店（店長）	・平均単価の下げ止まりがみられるようになっている。全体的には、客はどうしても必要な商品だけを買うという傾向が強い。 ・一部IT分野の商品はよく売れているが、それによる売上増加にも限度がある。
		乗用車販売店（従業員）	・高級車の売上が依然増加しないため、全体の売上高も伸びない。
		高級レストラン（経営者）	・会社関係の会議、会食等がほとんどなくなり、先行き不透明である。
		スナック（経営者）	・売上は全く変わらない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊客は増加しているが、宴席、会議等が依然伸び悩んでいる。
		ゴルフ場（支配人）	・夏の来場者1人当たりのプレイ回数は減少している。
		その他レジャー施設 [アミューズメント] （職員）	・消費動向に変化はなく、客単価もおおむね横ばいである。
		旅行代理店（従業員）	・来客数に大きな変化はなく、高額商品は売れない。
		タクシー運転手	・客単価はあまり増加せず、回転数も変わらない。
	タクシー運転手	・日中の客は比較的あるが、早朝と深夜の動きが悪い。特に深夜は、法人、個人とも電話予約、無線予約の本数が減少している。	
	その他サービス[フィットネスクラブ] （支配人）	・会員数が横ばい状態である。	
	やや悪くなっている	一般小売店[お茶] （経営者）	・客数、売上単価が全く伸びず、良くなる気配がない。
		百貨店（広報担当）	・衣料品を中心に売上が低迷している。
		コンビニ（店長）	・売上、客数ともに2、3か月前より減少している。
		自動車備品販売店 （経営者）	・来客数が若干減少しており、同じサービス内容でも単価が低下しているため、売上増加につながらない。
高級レストラン（支配人）		・食堂部門は売上、利用客数、単価いずれも低下している。宴会部門も売上、受注件数ともに低迷している。	
スナック（経営者）		・来客の多い日が一部に偏っており、それ以外の日を含む全体の売上は落ち込んでいる。	
旅行代理店（従業員）		・客は価格に対して非常に敏感になっている。 ・客数も少し減少している。	
その他サービス[学習塾] （経営者）	・売上が徐々に減少している。		
悪くなっている	商店街（代表者）	・売上の良い日も悪い日もあるが、売上全体では減少している。 ・原価を下回る安い処分品は売れる。	
	コンビニ（店長）	・売上の対前年比は、7月94%、8月93%であったが、9月は85%と非常に落ち込んでいる。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		都市型ホテル（スタッフ）	・長野で知事選があることに加え、オリンピックの影響で、景気が非常に悪化している。
		ゴルフ練習場（従業員）	・価格は低下傾向にある。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・中間決算ということもあり、9月は全般的に忙しかった。しかし、IT関連に限っては、9月には30台の予定がゼロ、10月には50台の予定が10台と、ここにきて急に仕事がキャンセルされた。
		電気機械器具製造業（経営者）	・6月の引き合いに対する生産をしており、9月は本年度2番目の売上を記録している。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・いまだばらつきはあるが、仕事量は増加している。
		非製造業[廃棄物処理]（経営者）	・電話等による注文や問い合わせが多少増加している。
		輸送業（統括）	・取引先のリース会社では、小口の契約件数が増加している。 ・社内では設備更新の話が出ている。
		変わらない	精密機械器具製造業（経営者）
		その他製造業[金属製品]（総務担当）	・単価が厳しく、売上が増加しない。
		その他製造業[印刷]（営業担当）	・仕事が少なかった7、8月と比較すると良くなっているが、5、6月と比較すると変化しておらず、低位安定の状況にある。
		その他企業[情報サービス]（従業員）	・仕事の引き合いは引き続き増加しており、対応しきれない状況で変わらない。
	やや悪くなっている		
	悪くなっている	-	-
雇用 関連	良くなっている	人材派遣会社（社員）	・年始以来、求人数が非常に増えており、ますます求人が増える方向にある。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・9月下旬に派遣の受注が増え始めたこと、派遣の仕事を希望する新規登録者が減り始めたこと、就業中の派遣登録者が増加していることから、やや良くなっている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・全体的に申込件数が増加している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・求人依頼をみると、稼働日数を減らすために週4日や隔日の就労というように就労形態が変化しているので、求人全体としては変わらない。 ・30歳くらいまでの求人依頼が多く、ベテランの就労先に困っている。
	やや悪くなっている		
	悪くなっている	-	-

東海

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	コンビニ（店長）	・水害の影響で飲料水や食料品等の売行きが良い。
	やや良くなっている	一般小売店（経営者）	・水害で影響を受けたが、確実に回復に向かっていく。
		コンビニ（エリア担当）	・例年よりも暑さが長引き、飲料水を中心に売上面では前年を上回っている。
		乗用車販売店（従業員）	・水害の影響で単発的な需要が高まっている。
		高級レストラン（スタッフ）	・証券、損害保険等、業績が良いと思われる業界団体の利用が増加し、会社の合併等組織変更に伴うと思われる宴会もあり、法人客に動きがある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由	
		スナック（経営者）	・水害前後は客が少なかったが、最近では街も活気づいてきている。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・個人の消費が維持できている一方で、宴会の予約状況が回復している。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・ホテルの客室稼働率が向上している。	
		タクシー運転手	・夜の繁華街は来客数が横ばいで依然厳しいが、今は水害の影響で一時的に仕事が増加している。	
		住宅販売会社（従業員）	・照明やカーテン等、住宅購入に関連した商品に対する消費意欲が目立つ。	
	変わらない	一般小売店[土産]（経営者）	・9月の前半は8月の猛暑の影響もあり調子が良かったが、後半に入り昨年の売上を下回る日が出てきている。	
		百貨店（販売促進担当）	・依然として来客数は減少傾向にある。	
		スーパー（店長）	・客単価は依然として低下傾向にあるが、来客数は減少していない。	
		コンビニ（店長）	・客単価は依然として低下傾向にあるが、来客数は前年並みになっている。	
		コンビニ（店長）	・猛暑で飲料水やビール等は増加したが、他商品に動きがない。	
		家電量販店（店員）	・客単価、来客数ともに変化がない。	
		乗用車販売店（経営者）	・水害の影響による来客数、販売台数の増加はあるが、通常の来客数には変化がない。	
		一般レストラン（スタッフ）	・水害の特別注文のため非常に忙しい日が続いたが、これを除くと前年の売上とほぼ等しい。	
		観光型ホテル（スタッフ）	・宿泊、食堂関係は低迷あるいは下降傾向にあるが、パーティ、宴会の利用客は3～5%程度回復している。 ・利用単価は低迷しており、総収入は前年比で横ばい状況である。	
		タクシー運転手	・客が中型タクシーから割安な小型タクシーに乗り替えているため、小型タクシーの乗車率が中型と比べて上昇している。	
		やや悪くなっている	商店街（代表者）	・客単価が上昇せず、来客数はやや減少している。
			百貨店（売場主任）	・大雨等の天候不順やオリンピックの影響で、秋の店内改装や地元プロ野球球団の残念セールの効果も薄く、来客数が増加してこない。
	百貨店（企画担当）		・水害の影響が非常に大きく、来客数が一層減少している。	
	スーパー（店長）		・一般食料品、家庭用品は、必要以外は買わない傾向がある。	
コンビニ（エリア担当）	・度重なる大雨の影響を受ける一方で、客単価の低下も依然として続いている。			
家電量販店（店員）	・客が店内にいても、買物をしていない様子がない。			
スナック（経営者）	・水害とオリンピックの影響で人通りが減少している。			
スナック（経営者）	・大雨の影響で来客数が減少している。			
テーマパーク（職員）	・夏以降、客の消費単価が低下傾向にある。			
テーマパーク（職員）	・来客数が減少傾向にあり、客単価も変化がない。			
住宅販売会社（従業員）	・貸出金利が上がったため、客の決断が鈍くなっている。			
悪くなっている	一般レストラン（スタッフ）		・雨の影響で、来客数がかなり減少している。	
企業動向関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・工場の稼働率が上がり、残業も増加している。	
		その他製造業[プラスチック製品]	・自動車関係は国内販売、輸出ともに好調である。	
		新聞販売店[広告]（店主）	・チラシ等広告量が増加している。	
		輸送業（エリア担当）	・貨物の物量が徐々に増加している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		会計事務所（所長）	・顧問先で業績が徐々に回復している企業が現れ始めている。
	変わらない	輸送業（エリア担当）	・荷量は前年比で増加しているが、運賃の値下げが響いている。
		輸送業（エリア担当）	・物量は増加しているが、単価の低いものが増えている。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・目にみえて求人件数が増加している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・数か月前までは金融、IT関連、ベンチャーの引き合いが多かったが、最近では中小企業からも問い合わせや依頼があり、景気の上昇気配が末端まで浸透しつつある。
	やや良くなっている	アウトソーシング企業（エリア担当）	・製造業の求人件数が多い。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・製造業を中心に幅広い業種で求人があり、雇用の回復が一段と進んでいる。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・派遣人数は多少増加しているが、既存の取引先の派遣終了者も多く、全体では横ばいである。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・安定はしているが、求人件数の伸びに3か月前ほどの勢いが無い。
	やや悪くなっている	新聞社[求人広告]（担当者）	・例年は盆過ぎから動きがあるが今年は下降気味で、秋になっても動きがなく厳しい環境が続いている。
	悪くなっている	-	-

近畿

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・少しずつ荷物が出やすくなっている。
		百貨店（売場主任）	・気温の低下とともに、苦戦していた紳士服の売上が前年を上回る状況にある。
		百貨店（売場主任）	・季節の変わり目で衣料品の買い替え需要がある。 ・婦人服、紳士服とも特にヤング層では今年のトレンドを取り入れたため好調な出だしである。
		コンビニ（エリア担当）	・平均客単価が5円ほど上昇している。
		乗用車販売店（営業担当）	・以前に比べ来客数や、高額車の売上が増加している。
		乗用車販売店（営業担当）	・今月は来客数が多く、車の販売もある程度好調だった。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊予約、企業の宴会が増加している。大阪市内のホテル全体で宴会の件数が増加している。
		観光名所（経理担当）	・客数、売上の前年比が少しずつ上昇している。
		旅行代理店（営業担当）	・夏以降の動きとしては落ち着きを取り戻し、大きく上昇してはいないが、法人に動きが出てきており、やや良くなっている。
	変わらない	商店街（代表者）	・客は先行きに不安を感じ、それが消費の低迷につながっている。
		商店街（代表者）	・週末を中心に人出はあるが、買上単価が下落しており売上がなかなか増加しない。
		スーパー（経理担当）	・客数は増加しているが、客単価や取引件数が伸びない。 ・客が価格に対して敏感である。
		スーパー（経理担当）	・買上単価、個数が回復基調になく、消費動向に変化がない。
家電量販店（店員）		・売上が停滞している。	
一般レストラン（スタッフ）	・予約状況を見ても、今までと変わらない。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由	
		観光型旅館（経営者）	・入館者、入湯者とも若干増加しているが、客単価は変わらない。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊、婚礼、食堂では目標を達成しており、少し客足が戻ってきている。	
		観光名所（経理担当）	・夏休みが終わり団体客のシーズンとなったが、減少傾向が続いている。	
		テーマパーク（職員）	・客の財布のひもは依然固く、消費単価が上昇しない。	
		旅行代理店（営業担当）	・9、10月の連休の旅行申込は多いが、それ以外は国内、海外とも伸び悩んでいる。安近短の傾向が続いており売上はなかなか伸びない。	
		住宅販売会社（営業担当）	・客の引き合いは大変多いが、非常に慎重であり、受注件数がほとんど変わらない。	
		住宅販売会社（従業員）	・以前より安い建て売りや都市部での分譲があっても、物件によっては来場者数が少ない。	
		その他住宅[展示場]（従業員）	・住宅展示場の来場者数は前年並みである。	
		その他住宅[情報誌]（編集者）	・住宅等の売行きに大きな変化はない。	
	やや悪くなっている	自動車備品販売店（営業担当）	・売上があまり伸びず、来客数も少ない。	
		一般レストラン（スタッフ）	・オリンピック中継のため、レストラン業界は打撃を受けている。ただし、この傾向は8月後半から出てきており、既存店前年比は昨年9月から下げ止まっていたが、8月後半から下向き方向に動いている。	
		タクシー運転手	・宗右衛門町などの繁華街では夜8時過ぎになっても客引きの姿ばかりが目立ち、飲食する客がますます減少している。	
	悪くなっている	コンビニ（経営者）	・家賃と収益のバランスが合わない競合店が増加している。	
		家電量販店（経理担当）	・既存店の売上の落ち込みが大変大きい。	
		競輪場（職員）	・入場者が減少し、購買単価は低下し、一層厳しい状況である。	
		競輪場（職員）	・競輪ファンの減少が続き、売上が落ち込んでいる。	
		美容室（店長）	・来客数が減少している。	
	企業動向関連	良くなっている	-	-
		やや良くなっている	その他製造業[紙加工品]（経営者）	・受注件数がやや増加している。
経営コンサルタント			・受注が多く忙しい状況であり、担当客先でも同様である。	
変わらない		一般機械器具製造業（経営者）	・受注量が横ばいである。	
		一般機械器具製造業（経営者）	・引き合いは増加しているが、なかなか受注できず、受注できても価格が厳しい状態が数か月続いている。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・3か月前もやや良い状態であったが、現在も良好である。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・IT関連機器である携帯電話、パソコンに陰りがあり、中国へのシフトがかなり進んでいる。	
		広告代理店（従業員）	・マンションの販売が鈍ってきているため、売れ残りのチラシ広告が増加している。	
		その他企業[ネジ]（団体役員）	・出荷量は数量、金額とも横ばいに推移している。	
やや悪くなっている		その他企業[タオル]（団体職員）	・年末の需要期を迎えるが、注文が少ない。注文があっても、低価格の輸入品との競合により採算が取れる状況ではない。	
		その他企業[自転車製造卸]（団体職員）	・依然低価格志向が続き、売上が伸びていない。	
悪くなっている		-	-	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	・情報通信や金融などの特定分野で雇用の改善がみられる。
		人材派遣会社（社員）	・正社員を雇用する前段階として、IT関連及び金融業界を中心に新規の受注が増加している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・アルバイトを中心に求人件数が大きく伸びている。
	変わらない	その他雇用[職業紹介所]（職員）	・前年比などのプラス傾向が頭打ちになっている。
	やや悪くなっている	アウトソーシング企業（経理担当）	・決算で前年比約40%の増収となった。
悪くなっている	-	-	

九州

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・秋物の時期に入り、衣料の売上も伸びている。 ・長崎おくんち（祭り）に期待している。
		スーパー（店長）	・プロ野球球団の優勝やオリンピック等でムード的に盛り上がっている。
		スーパー（店長）	・従来あまり出ていない紳士カジュアルや子供服、婦人服の売上が良くなっている。
		インテリア専門店（従業員）	・価格破壊の影響によって総売上は伸びていないが、買上個数は増加している。
		テーマパーク（職員）	・アミューズメントに関しては前年割れだが、宿泊は横ばいで推移している。
		住宅販売会社（従業員）	・一般請負住宅は横ばいだが、建売住宅の申込が多少増えてきているので良くなっている。
	変わらない	商店街（代表者）	・若者の消費が落ち込んでいることなどから、前年と比べても売上は低迷している。
		商店街（代表者）	・個人の所得は横ばい状態だとは思いますが、先行き不安が根強く、消費意欲が低下している。
		百貨店（売場主任）	・店頭売上は前年を上回っているが、メーカーの倒産等もまだまだ多く、景気は変わっていない。
		家電量販店（店員）	・オリンピック需要によりBS等の高額商品が動いているが、その他の商品は伸びがない。
		その他小売[雑貨]（総務担当）	・イベント等でにぎわったが一過性のもので、底上げをするようなものではない。
		一般レストラン（スタッフ）	・客数は少なく、昼過ぎから夕方までの時間帯に店を休む所も出てきている。
		ゴルフ場（支配人）	・9月に入っても残暑が厳しく、台風も影響して客足は伸びない。
		パチンコ店（従業員）	・消費者の金回りが悪く、売上が悪い。
		旅行代理店（従業員）	・個人旅行客は順調に伸びているが単価が下がっているため、忙しさの割には売上が伸びない。
		タクシー運転手	・猛暑により昼間の客は増えたが、夜の客が減ったため売上は変わっていない。
		設計事務所（職員）	・物件数が伸び悩んでいるだけでなく、客の商売の状況についてもあまり良い話を聞かない。
		住宅販売会社（従業員）	・来場者数が先月と変わらず、客の契約の意思決定が慎重である。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	・近隣に大型小売店がオープンし、客が流れた。 ・運動会の季節なので休日も商店街の客は少ない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	景気の現状に対する判断理由
		百貨店（販売促進担当）	・残暑が厳しく秋物衣料の動きが鈍く、オリンピックや前年の地元プロ野球球団の優勝セールとの反動もあって前年より客数が減少している。 ・客単価の低下、買上個数の減少に加え、購買意欲も低下している。
		スーパー（店長）	・食品、非食品にかかわらず客単価が下がり続けている。
		衣料品専門店（総務担当）	・折込チラシで3日間の売出しをしても、効果は初日の1日しかない。
		スナック（店長）	・オリンピックで商店街自体の人通りが少ない。
		ゴルフ場（従業員）	・隣の長崎県で3つのゴルフ場が倒産した。 ・客単価も前年を2000円ほど下回っている。
		パチンコ店（従業員）	・オリンピック、野球、農繁期の関係により、昼夜ともに客数が落ちている。
		タクシー運転手	・老舗ホテルの閉鎖や倒産が相次いでいる。 ・得意客の利用回数も減ってきている。
		美容室（経営者）	・9月の売上が伸び悩んでいる。 ・様々な商売の人の話を聞いても一段と悪い状態となっている。
		住宅販売会社（従業員）	・6月と比べると9月は契約高が3割ほど減少する見込みとなっている。
	悪くなっている	百貨店（営業担当）	・入店者数は減少し、単価も低下しており、衣料品に加え、最近は食品にまで影響が出てきている。
		一般レストラン（経営者）	・オリンピックの影響により、夜の客数が減少している。
		一般レストラン（スタッフ）	・9月は客数が大幅に減少している。
	企業動向関連	良くなっている	-
精密機械器具製造業（経営者）			・新規の引き合いが増加してきている。
変わらない		農林水産業（経営者）	・秋の行楽シーズンに期待したいが、変化はなさそうであり、食品業界の不祥事もまだ尾を引くだろう。
		食料品製造業（経営者）	・流通業の中でもスーパー、コンビニの売上が非常に悪く、買い控えが続いている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・自社も周りの会社も景気が良い状態が続いている。
		広告代理店（従業員）	・7、8月と悪かったが、9月になって6月の売上にまで持ち直した。
やや悪くなっている		電気機械器具製造業（経営者）	・全般的にはやや低調で、半導体業界ではリードフレーム関係で非常にむらが大きく、企業間格差が出てきている。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・受注が減少し、売上が落ちてきている。
		輸送業（従業員）	・軽油高が続き、コストが高くなっている。
悪くなっている		電気機械器具製造業（経営者）	・売上高が過去12か月で最悪である。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・漁船を造っているが、東シナ海の水揚げが悪いため、かなり苦心している。
雇用関連	良くなっている	-	-
		-	-
	変わらない	求人情報誌製作会社（総務担当）	・中途採用を行う会社が顕著に増えてきており、昨年比10～20%増で推移している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・アルバイトやパートは増えてきたが、正社員は営業職以外は低い水準である。
	やや悪くなっている	新聞社[求人広告]（担当者）	・地場企業の広告が減少しており、逆に関東や関西に本社を置く企業の取扱件数が増えている。
	悪くなっている	-	-

2. 景気の先行きに対する判断

2～3か月先の景気の先行きに対する判断は、以下のとおりであった。

(1) 全国の動向

分野別の景気の先行き判断D I

図表2-1-1 各分野における景気の先行き判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
合計	55.5	54.2	54.8	51.3	51.2	52.6
家計動向関連	53.5	52.7	53.5	49.3	47.9	50.0
小売関連	53.1	49.2	51.8	46.3	45.4	46.8
飲食関連	52.2	56.7	54.5	47.6	48.2	49.1
サービス関連	53.9	55.7	55.0	53.3	52.4	55.5
企業動向関連	58.5	56.5	57.1	54.4	57.7	56.7
雇用関連	66.1	61.7	60.4	61.1	63.6	64.1

(2) 各地域の動向

地域別の景気の先行き判断D I（各分野計）

図表2-2-1 各地域における景気の先行き判断D Iの推移表（各分野計）

(D I)	平成12年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全国	55.5	54.2	54.8	51.3	51.2	52.6
北海道	46.0	50.0	55.5	50.5	47.2	49.0
東北	57.2	54.6	52.1	49.5	49.7	52.9
関東	57.2	55.4	53.2	52.2	53.7	54.6
東海	59.7	58.6	57.9	53.0	55.7	56.3
近畿	57.5	54.2	57.1	50.8	51.7	53.3
九州	55.6	52.7	52.9	51.6	49.5	49.7

地域別の景気の先行き判断D I（家計動向関連）

図表2-2-2 各地域における景気の先行き判断D Iの推移表（家計動向関連）

(D I)	平成12年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全国	53.5	52.7	53.5	49.3	47.9	50.0
北海道	42.7	48.3	54.9	48.9	44.4	45.4
東北	54.6	51.8	49.6	46.3	47.4	49.6
関東	57.2	54.5	51.9	50.4	50.0	50.8
東海	56.6	57.3	57.3	50.0	51.4	52.1
近畿	56.7	53.1	54.1	48.4	48.8	52.0
九州	53.4	51.5	52.9	51.5	45.8	50.4

(3) 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

北海道

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般レストラン(スタッフ)	・プロ野球の優勝効果が消費の拡大につながり、売上増加が期待できる。
		旅行代理店(従業員)	・団体旅行など先行受注が良好である。
	変わらない	百貨店(売場主任)	・客が求める単価が低下している傾向からみて、これからの冬物商戦は非常に厳しくなる。
		スーパー(店長)	・秋物衣料の動きがほとんどなく、単価の回復もみられない。
		コンビニ(エリア担当)	・高額商品の動きがみられず、秋の新商品も動きがあまり良くなく、また、客の商品をみる目も厳しくなっている。
		家電量販店(店員)	・家電業界ではBSデジタル放送に期待しているが、高額商品の動きがない。年末商戦が始まるが、明るい兆しが無い。
		乗用車販売店(従業員)	・モデルチェンジをした新型セダンが出るので、新型車効果を期待している。
		自動車備品販売店(店長)	・来客数が回復しておらず、高額商品の売上も伸び悩んでいる。
		高級レストラン(スタッフ)	・航空運賃の改訂による影響が大きく、観光客の来店が増加しない。
		スナック(経営者)	・観光客が繁華街に遊びに出てきておらず、パーティ等の予約も少ないので忙しくなる兆しが無い。
		旅行代理店(従業員)	・先行受注がおしなべて良くなっているが、この状況が今後も継続すると自信をもって言える状況ではない。
	やや悪くなっている	家電量販店(フロア一長)	・各企業のボーナスが少ないので、年末もさほど変わらない売上になる。
		高級レストラン(スタッフ)	・観光のオフシーズンを迎え、観光客や大型団体客が減少し、年末年始の季節柄、地元客の消費も冷え込み、売上面で苦戦するとみられる。
		観光型ホテル(役員)	・予約の入り方が遅くなっており、宿泊単価も低下している。
悪くなっている	百貨店(売場主任)	・単品買いの傾向、低価格志向が強くなり、ヒット商品もない。	
企業 動向 関連	良くなっている	食料品製造業(団体役員)	・秋の行楽期、年末の需要期を迎えて、活発な商談、取引が見込まれる。
	やや良くなっている	食料品製造業(経営者)	・農産物の流通が本格的になるので、市場において期待が持てる。
		広告代理店(従業員)	・年末にかけてのミレニアム関連の広告受注が増加している。
		輸送業(支店長)	・農産物の豊作が予想されており、本州の景気回復の影響もみられ始めている。
	変わらない	輸送業(総務担当)	・製紙関係が上向きであり、農作物の豊作も予想されているが、全体を押し上げるほどではない。
	やや悪くなっている		
	悪くなっている	-	-
雇用 関連	良くなっている		
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・下期に向けて業務量が増加しそうな客先がいくつかある。
求人情報誌制作会社(編集者)		・求入している企業が、採用まで至らず繰り返し求人するケースが増加しているが、これまでの経験からみて、このような状況は景気回復の傾向である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	新聞社 [求人広告] (担当者)	・大型スーパーの開店で、テナント店での新規求人がみられたが、人員削減をする企業もあり、全体としては変化がない。
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

東北

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	タクシー運転手	・乗客が増加してきている。 ・企業が使用を認めているためか、タクシーチケット利用者が増えている。
	やや良くなっている	商店街 (代表者)	・これからは消費マインドの向上が期待できる。
		商店街 (代表者)	・イベント等の実施により、来街者の増加が期待できる。
		百貨店 (売場主任)	・高額商品の陳列のリニューアルや新世紀にかけての盛り上がり期待できる。
		高級レストラン (スタッフ)	・宿泊や宴会・レストランともに、法人需要の回復がみられ、婚礼の申込も今期は昨年を上回っている。
		遊園地 (経営者)	・10月の連休のイベントは客の反応が良く、それなりの成績が期待できる。
		テーマパーク (職員)	・年末の予約が順調である。
		美容室 (経営者)	・結婚式、七五三、成人式、正月等行事が続くので、忙しくなる。
	変わらない	美容室 (経営者)	・年末に向け、購買意欲が持ち直してきている。
		百貨店 (売場主任)	・客の購買動向が、天候要因に左右され、また、価格に対して非常に敏感に反応している。 ・デパート側が個々の客のニーズに応える仕掛けをしなければ売上の回復は望めない。
		百貨店 (総務担当)	・消費者の購買行動が慎重である。
		百貨店 (企画担当)	・ミセスの購買力が若干伸びている一方で、若年層の購買力が弱いため、今後も変わらない。
		スーパー (店長)	・8月の売上は前年を上回ったが、今月は低迷している。 ・月ごとの好・不調の波が大きい。
		インテリア専門店 (統括)	・客は、必要な物以外は無関心である。
		一般レストラン (経営者)	・景気が良くなるという判断材料がない。
		観光型ホテル (経営者)	・これから、観光のトップシーズンに入り、団体客の減少を、料金単価の高い個人客でカバーできる。
		都市型ホテル (経営者)	・景気が良くなる条件が乏しい。
		都市型ホテル (スタッフ)	・このところ学会や東北大会等の大型受注があり、売上が増加している。
		競馬場 (職員)	・大きなレースが始まるものの、今の状況では現状維持が限界である。
		旅行代理店 (従業員)	・アジアやヨーロッパ等へ行く客数は伸びているが単価は低下している。 ・国内商品では、フリープラン等の低価格のものが売れている。
		やや悪くなっている	コンビニ (エリア担当)
	衣料品専門店 (店長)		・給与や賞与の支給額をみながら、買物に行くという傾向が強まっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなっている	都市型ホテル（スタッフ）	・忘年会の受注に関しては、大きな案件の情報もなく、また企業の利用増も期待できない。
企業動向 関連	良くなっている	食料品製造業（経営者）	・おでん等の練物製品を作っており、これからますます忙しくなる。
	やや良くなっている	食料品製造業（経営者）	・寒さとともに、おでんや煮物商品の売行きが良くなり、出荷の増加が期待できる。
		電気機械器具製造業（従業員）	・情報関連機器の需要が上向きになっている。
		輸送業（経営者）	・わずかではあるが、物流の取扱量が増加しており、波及効果が期待できる。
	変わらない	経営コンサルタント	・経営者のマインドが前向きになってきている。
		食料品製造業（従業員）	・現在の受注状況は、昨年並みを維持している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・2、3か月先の受注がみえないにもかかわらず、理由が分からないまま、現在非常に忙しくなっている。
	やや悪くなっている	広告代理店（従業員）	・景気に大きく影響を与えるような要素が見当たらない。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・Uターンした人が、地元で職が見つからないと話している。
悪くなっている		-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・求人の引き合いが、南東北から北東北へも広がってきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人が上向いており、IT関連の伸びに期待できる。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・季節要因による需要増は期待できるが、増員や業務の繁忙による受注はない。
		人材派遣会社（社員）	・合理化に伴う派遣人員の要請ばかりで、前向きな投資の話がほとんどない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・景気が良くなる材料が見当たらない。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

関東

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	コンビニ（店長）	・今まで若干だが売上が増加してきているので、やや良くなっている。
		乗用車販売店（従業員）	・若者向けの新型車発表を控えており、来場者数も多くなる。
		一般レストラン（店長）	・年末に向けて、新規にできたショッピングモールの影響もあり、売上、来客数が増加する。
		都市型ホテル（スタッフ）	・大きな団体からの受注はなかなか取れないが、小グループや小企業に少しずつ動きが見受けられる。
		旅行代理店（従業員）	・11月、12月の受注状況が良い。コンピュータの2000年問題で旅行が少なかった昨年の反動で、今年は出足が好調である。
	変わらない	百貨店（販売促進担当）	・9月後半は気温が低下してきたため、衣料品の動向も非常に良くなってきた。しかし、全体的な売上、客数は今までの基調と変わらず、これからも変わる材料がない。
百貨店（買付担当）		・売上が気温に左右されるファッション衣料にとって、昨年の暖冬による冬物商品の売上不振は今年もありうる。 ・価格低下は更に進んでおり、売上数は増加しても売上増につながらないという悪循環は続く。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（統括）	・来客数は増加しているが、景気を改善させるだけの要因はまだない。 ・ヒット商品もまだ出ていない。
		スーパー（店長）	・収入の伸びが見込めないので、ファッションや食品への支出が増加しない。
		コンビニ（店長）	・客数、客単価の減少に歯止めがかからない限り、景気が上向くとは思えないが、これ以上悪くなる要素も見当たらない。
		衣料品専門店（従業員）	・低価格で品ぞろえを充実しても、必需品以外を購入しないという消費者の購買行動に変化がない。
		高級レストラン（支配人）	・年末には、定例の宴会等は受注しているが、新規顧客の予約がほとんどない。
		一般レストラン（経営者）	・中長期的に、売上はほとんど変わっておらず、なかなか良くならない。
		スナック（経営者）	・常連の客はよく来るが、新規の客や飛び込みの客がそれ程多くないので、あまり人が動いていない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会の予約が好調であるといった要因がない。 ・ホテル前のタクシーの待ち台数も多い。
		その他レジャー施設 [アミューズメント]（職員）	・消費動向に大きな変化がみられない。
		旅行代理店（従業員）	・受付客数は増加しているが、単価がかなり抑えられており、競合も増えているので、売上増加の期待はできない。
		タクシー運転手	・今後も景気を改善させる材料がなく、当分この状態が続く。
		その他サービス [学習塾]（経営者）	・子供の数が増えているため、業況はなかなか良くならない。
	やや悪くなっている	スーパー（経営者）	・平均的には可処分所得が減少してくる。
		コンビニ（店長）	・出費の重なる12月を控えて、10、11月には引き締め傾向になる。
		家電量販店（店長）	・デジタルBS放送やIT分野の拡大といった景気へのプラス面と、国民の将来に対する不安感というマイナス面を総合的に比較すると、景気へのマイナス面の方が若干大きい。
スナック（経営者）		・先行き不透明で、明るい期待がもてない。	
	住宅販売会社（従業員）	・住宅展示場等の来客数が2割ほど減少している。	
	悪くなっている	-	-
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	・設備投資の動き、高齢化問題への対応など、一部の業界に動きがみられる。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・アジアの景気が上向いてきており、10月にかけてかなり仕事が出てきたので、これから良くなる。
		その他製造業 [印刷]（営業担当）	・年末に向けて、多少良くなっている。
		非製造業 [廃棄物処理]（経営者）	・客の活気が戻りつつあることを営業等で感じる。
		輸送業（統括）	・東京方面の荷主の話では全般的に物流量は増加しているようであり、今後良くなる。
		その他企業 [情報サービス]（従業員）	・eコマースやウェブ関連の仕事が増えてきており、今後も右肩上がり増加していく。
	変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	・建築や設備業界は、計画から2、3年たってから動くので、急に良くなる業界ではない。1、2年前から動きは悪く、今後も悪い状況は変わらない。
		精密機械器具製造業（経営者）	・業況の良い企業と悪い企業が混在する状況はしばらく変わらない。
		その他製造業 [金属製品]（総務担当）	・引き合いは多少増加しているものの、受注単価が非常に厳しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他企業[情報サービス](従業員)	・2、3か月先の案件が増加しているといった要因がない。
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業(経営者)	・設備投資が一巡して、一時ほどの勢いはない。 ・相当な生産調整の段階に入ってきている。
		電気機械器具製造業(経営者)	・年末に向けての動きがみられず、少し不安を持っている。
	悪くなっている	-	-
雇用関連	良くなっている	人材派遣会社(社員)	・企業からの求人数が非常に多く、派遣スタッフの側で仕事が自由に選べ、派遣スタッフを探すのが難しい状況である。
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	・小田原の百貨店がオープンしたのに伴い販売員の依頼が来ており、良くなると期待している。
		人材派遣会社(社員)	・いまだ合併や事業部の統廃合を実施する企業もあるが、一方で短期的ではあるが事業の拡大等による人材投入で派遣の活用が予定され始めており、やや良くなっている。
		求人情報誌製作会社(編集者)	・インターネットビジネスはこれから本格化し、けん引役になる。
	変わらない		
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

東海

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなっている		
	やや良くなっている	百貨店(販売促進担当)	・歳暮、ギフトは顕著に動く。
		乗用車販売店(従業員)	・売上、来客数が増加している。
		乗用車販売店(従業員)	・来客数が増加傾向にある。
		一般レストラン(スタッフ)	・現状が悪いので、数か月先には反動が期待できる。
		都市型ホテル(スタッフ)	・昨年より売上の増加が見込めそうである。
		都市型ホテル(スタッフ)	・来客数の変化に徐々に力強さを感じられる。
		旅行代理店(従業員)	・自動車産業を中心に景気は良くなってきているので、サービス業の景気も上向いてきそうである。
	変わらない	スーパー(店長)	・食料品関係はある程度良いが、それ以外は引き続き悪い状態が続く。
		スーパー(店長)	・消費者の消費パターンがほぼ確立し、消費を刺激する外的要因が見当たらない。
		コンビニ(店長)	・水筒でお茶を持参したり、余分な物を買わない傾向は当分続きそうである。
		コンビニ(店長)	・水害によりしばらくは他の物に資金が必要ということで、当面は買い控えが続く。
		高級レストラン(スタッフ)	・個人、法人ともに予算を抑えた注文が顕著になり、客単価は横ばいである。
		観光型ホテル(スタッフ)	・今後3か月の予約状況を見ると、パーティや宴会は3~5%ほど良いが、宿泊や食堂の予約は減少傾向である。
テーマパーク(職員)		・気候の良い時期になるが、来客数、客単価ともに変化が出そうにない。帰る客の荷物が増えず、買物が非常に少ないままである。	
テーマパーク(職員)	・観光地の人出は少なく、買物も少なくなっている。		
旅行代理店(従業員)	・集中豪雨により、個人、団体旅行ともにキャンセルが出ている。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・名古屋の夜の繁華街で空車が多く、最悪の状況が続いている。 ・客の話にも明るい話題がない。
	やや悪くなっている	百貨店（売場主任）	・小さなヒット商品もなく、消費を刺激するものがない。
		百貨店（企画担当）	・今年になって月を追うごとに来客数が減少し、景気の底が見えず、歳暮商戦も期待できない。
		ゴルフ場（経営者）	・来客数は6月以降前年比で10%以上減っているが、3か月先の予約状況を見ても、この状況は続きそうである。
		住宅販売会社（従業員）	・景気が良くなる要因が見当たらない一方で、金利が上がり更に悪化しそうである。
	住宅販売会社（従業員）	・住宅の供給過剰感が顕著に目立ってきている。	
	悪くなっている	-	-
企業動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（営業担当）	・インターネット関連で業界が活性化している。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・工場では年内の休日稼働が決まっている。
		その他製造業[プラスチック製品]	・自動車関係は輸出が好調で、国内需要も秋の新型ラッシュを控え、生産台数の増加が予想される。
		新聞販売店[広告]（店主）	・チラシの動向をみると、年末にかけて景気が上向く気配がある。
		輸送業（エリア担当）	・中部国際空港の工事が始まっており、愛知万博の着工も本決まりになった。
		輸送業（エリア担当）	・アジア向け貨物が徐々に増加している。
		輸送業（エリア担当）	・一般道路のトラックの走行台数が以前より増加している。
		経営コンサルタント	・事務所需要が徐々に上向きつつある。
		会計事務所（所長）	・顧問先の企業の中で、少しずつ活躍する企業が増えてきた。
	変わらない	-	-
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	・全職種で目に見えて求人が増加している。
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・規制緩和によって業務の幅が広がり、派遣業界全体に対する需要が回復しつつある。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・IT関連と自動車関連の好調が全体を押し上げ、今の景気の上昇傾向が持続する。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・技術系だけでなく事務や販売でも求人が増えている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・派遣契約が短期化し、派遣先も様子をみている。
		新聞社[求人広告]（担当者）	・前年比では求人は伸びているが、2、3か月前と比べると鈍っている。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

近畿

(- : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなっている	美容室（経営者）	・客から、年末から来年にかけて景気は良くなるとの話を聞く。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・涼しくなったこともあり、余分に物を買っていく傾向がある。
		百貨店（売場主任）	・9月後半からの秋物が順調で、客の購買に活発な動きがみられる。気温が低く推移すれば、前年を上回っていくとみられる。
		百貨店（売場主任）	・ミセス層においてもヤングのトレンドを取り入れようとし、衣料品の需要は伸びると思われる。
		家電量販店（店員）	・新しいOSが発売になり、売上も順調に伸びていく。
		都市型ホテル（スタッフ）	・淡路花博が終わり宿泊は一段落と思っていたが、10、11月と、ねりんピックや老人福祉関係の催しが多く、宿泊予約は大口団体が入っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・12、1月の一般宴会の予約が良好である。特に1月の新年会の予約が多い。
		観光名所（経理担当）	・前年と比べて客数、売上の増加傾向が続いている。
		旅行代理店（営業担当）	・年末年始のパッケージツアーは、グアムなど近場の海外旅行が好調で既に満員となっていることに加え、高額商品も売れ始めている。
		住宅販売会社（従業員）	・消費者のニーズに合致した物件に関しては、大変好調に販売できる。
	変わらない	商店街（代表者）	・販売促進等を行わなければ落ちる一方で、精一杯集客の仕掛けを作ってやっと現状を維持しており、今後良くなることは到底期待できない。
		商店街（代表者）	・低価格志向が続き、客単価も上昇するとは思えない。この傾向はしばらく続き、売上増は期待できない。
		コンビニ（エリア担当）	・低価格品に客が流れている。
		コンビニ（店長）	・客単価が低く客数も増加しないので、良くはならない。
		その他専門店[時計]（経営者）	・ボーナス時期になっても、客が必要な物だけを買う傾向は変わらず、消費は伸びない。
		乗用車販売店（営業担当）	・客の行動に変化は感じられない。
		一般レストラン（スタッフ）	・既存店売上が前年を割っており、この傾向は根強い。
		スナック（経営者）	・支払を会社経費とする件数が増加しており、多少良くなる兆しはあるが、全体としては変わらない。
		テーマパーク（職員）	・団体予約の状況が少し改善しているが、個人客の消費は良くなっていない。
		タクシー運転手	・賃貸料が下落したためか、メインストリートにエステや美容室など女性を対象とする店が進出している以外、ダイナミックな動きはみられない。
住宅販売会社（営業担当）		・引き合いの数は増加しても受注は減少気味で、客が慎重になっており、しばらくこの傾向は続く。	
その他住宅[展示場]（従業員）	・来場動向にあまり変化がない。		
やや悪くなっている	家電量販店（経理担当）	・ここ数か月の売上の落ち込みが大変心配な状況である。パソコンの買い控えだけとは思えない。	
美容室（店長）	・予約が減少している。		
悪くなっている			
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	・受注価格は問題だが、引き合いが増加しており、来年以降の受注は確実にある。
		その他製造業[金属製品]（経営者）	・中小企業でもIT産業に関係する業種の設備投資が顕著に現れている。
		その他企業[ネジ]（団体役員）	・出荷の対前年比が改善してきている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	・売上の50%を占める半導体、液晶の業界は非常に好調で、3か月ぐらいいは継続する。
	やや悪くなっている	その他企業[タオル]（団体職員）	・年末は需要期であるが、受注数量が減少しており、受注単価は下落している。
	悪くなっている	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	・IT関連に引きずられるように仕事が出てくる。
		人材派遣会社（社員）	・業種を問わず人材派遣の需要が伸びている。
		人材派遣会社（社員）	・年末までの需要を見越して、新規の発注は増加傾向にある。
	変わらない	-	-
	やや悪くなっている	-	-
	悪くなっている	-	-

九州

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	・大型店が続々とオープンしているが、客の流れに大きな変化はない。
		スーパー（店長）	・海外旅行に行く人が増えたようで、大型のスーツケースが良く売れる。
		一般レストラン（経営者）	・例年、12月になると客の食欲も増し、年末の忘年会等の下見も増えてくるので徐々に良くなっていく。
		都市型ホテル（スタッフ）	・団体客の予約状況も良く、ビジネス客の利用も増え始める。
		住宅販売会社（従業員）	・建売住宅の申込等、多少好転する材料が出てきている。
	変わらない	商店街（代表者）	・若者層の購買意欲が低下しているほか、中高年層の購買意欲の伸びも期待できない。
		百貨店（営業担当）	・これ以上悪くなりようがない。 ・地元プロ野球球団の優勝による経済効果を期待したい。
		スーパー（店長）	・平均単価が下がっているため、現状は2～3か月変わらない。
		コンビニ（店長）	・売上は、秋口に寒くなれば増加し、暑ければ前年並みと思われる。
		家電量販店（店員）	・今後は、現在よく売れているパソコン関連商品と並んで、BSデジタル関連商品が期待できそうである。
		一般レストラン（スタッフ）	・医療、年金、介護等でこれから出費が予想されるため、食費などを切り詰める傾向がみられる。
		テーマパーク（職員）	・このままの状況が維持できる。
		ゴルフ場（支配人）	・コンペや会員の利用回数が少なく、急速な回復は期待できない。
		パチンコ店（従業員）	・設備投資も売上に結びつかず、回復の見込みがない。
		競輪場（職員）	・年末に向けて消費は拡大していくようだが、競輪、競艇にまで波及してこない。
		旅行代理店（従業員）	・年末年始の申込が例年よりも遅く、出発日間近の申込が多くなっているため先がみえない。
		旅行代理店（従業員）	・予約状況からみてもほぼ横ばいか、やや下り坂であり、上昇する材料が見当たらない。
		タクシー運転手	・駅ビルのオープンや秋の長崎おくんち（祭り）に期待したいが、夜間、町の人通りは相変わらず少ない。
やや悪くなっている	百貨店（販売促進担当）	・地元プロ野球球団が優勝すれば、マーケットにインパクトを与えそうだが、それ以外での個人消費の回復は現状から判断しても、あまり期待できない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	悪くなっている	スーパー（店長）	・今はオリンピック等でうかれムードだが、これが先々まで続くかどうかということには疑問を感じる。
		乗用車販売店（従業員）	・リコール問題や、新型の認可が下りないことから、新型車効果が今後出ないのではないかと考えている。
		衣料品専門店（総務担当）	・客に買物をしようという雰囲気がないため、売上実績が前年を割っている。
企業動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関連の仕事が秋口に増加する予定なので、それに期待したい。
		精密機械器具製造業（経営者）	・主要取引先の生産がしばらくは若干プラスで続くことが見込まれる。
		輸送業[倉庫]（従業員）	・年末は各メーカーともキャンペーン等で新製品を発売し、荷動きを活発にするので、年末にかけて忙しくなる。
	変わらない	電気機械器具製造業（経営者）	・半導体関係のリードフレームや液晶などは、生産のピークを過ぎた感がある。
		その他製造業[窯業土石製品]（経営者）	・市況が下がり気味なので、同業他社との競争が激しくなる。
		広告代理店（従業員）	・今の良い状態が続く。
		広告代理店（従業員）	・2か月ごとに良くなったり悪くなったりするので、平均するとあまり変わらない。
	やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	・飲料品は単価の安い商品しか出ない。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・特に国内での受注減が激しく、景気の良くなる話がない。
		輸送業（従業員）	・軽油価格が更に上昇するようなので、厳しくなりそうである。
	悪くなっている	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	・日本シリーズの経済効果により仕事が増え、それをきっかけにして上昇していく。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・中途採用の社数、採用職種、中小企業の求人が増えており、再来年度の新卒求人の問い合わせも来ている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・秋口も経費削減により、社内研修を控える企業が出てきている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・年末に向けて消費が拡大する見通しで、アルバイト、パート募集は増加しそうだが、求人全体から見ると一過性のものである。
	やや悪くなっている	-	-
悪くなっている	-	-	

(参考) 現在の景気水準に対する判断

現在の景気的水準自体に対する判断は、以下のとおりであった(注)。

図表 - 参考 - 1 各分野における景気の現状水準判断D Iの推移表

(D I)	平成12年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
合計	46.0	43.0	43.5	44.6	42.4	41.9
家計動向関連	42.7	39.1	39.7	41.5	38.6	37.7
小売関連	41.6	36.7	38.9	39.0	34.6	36.6
飲食関連	37.5	37.9	37.1	41.5	34.6	31.1
サービス関連	45.4	42.0	40.9	44.5	46.1	41.5
企業動向関連	53.4	51.5	49.4	49.6	47.6	49.8
雇用関連	57.8	56.4	62.0	58.9	62.0	57.8

図表 - 参考 - 2 各地域における景気の現状水準判断D Iの推移表(各分野計)

(D I)	平成12年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全国	46.0	43.0	43.5	44.6	42.4	41.9
北海道	36.8	38.0	40.5	41.3	36.1	38.8
東北	45.4	40.1	41.4	41.0	39.8	38.5
関東	45.6	44.4	45.7	45.9	42.8	44.3
東海	48.5	49.5	48.2	47.2	51.0	47.1
近畿	47.8	41.1	39.7	43.1	41.7	41.5
九州	53.1	45.2	45.5	48.9	43.0	41.0

(注) 景気の現状をとらえるには、景気の方角性に加えて、景気的水準自体について把握することも必要と考えられることから、参考までに掲載するものである。

(別紙)

景気ウォッチャー(調査客体)の地域別・分野別構成

	北海道		東北		関東		東海	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
合計	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%	100	100.0%
家計動向関連	72	72.0%	73	73.0%	70	70.0%	73	73.0%
小売関連	36	36.0%	35	35.0%	25	25.0%	35	35.0%
商店街代表者	5	5.0%	4	4.0%	1	1.0%	1	1.0%
一般小売店経営者・店員	1	1.0%	2	2.0%	2	2.0%	5	5.0%
百貨店売場主任・担当者	5	5.0%	7	7.0%	6	6.0%	5	5.0%
スーパー店長・店員	5	5.0%	6	6.0%	5	5.0%	6	6.0%
コンビニエリア担当・店長	5	5.0%	4	4.0%	4	4.0%	6	6.0%
衣料品専門店経営者・店員	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	0	0.0%
インテリア専門店経営者・店員	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
家電量販店経営者・店員	5	5.0%	2	2.0%	2	2.0%	3	3.0%
その他専門店経営者・店員	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	3	3.0%
乗用車・自動車備品販売店経営者・店員	7	7.0%	4	4.0%	3	3.0%	6	6.0%
卸売業従事者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他小売の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
飲食関連	12	12.0%	11	11.0%	13	13.0%	9	9.0%
高級レストラン経営者・スタッフ	5	5.0%	3	3.0%	2	2.0%	2	2.0%
一般レストラン経営者・スタッフ	2	2.0%	4	4.0%	6	6.0%	3	3.0%
スナック経営者	4	4.0%	3	3.0%	5	5.0%	4	4.0%
その他飲食の動向を把握できる者	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
サービス関連	20	20.0%	22	22.0%	29	29.0%	24	24.0%
観光型ホテル・旅館経営者・スタッフ	1	1.0%	5	5.0%	0	0.0%	1	1.0%
都市型ホテル・旅館経営者・スタッフ	0	0.0%	4	4.0%	4	4.0%	3	3.0%
観光名所・遊園地・テーマパーク職員	1	1.0%	3	3.0%	0	0.0%	6	6.0%
ゴルフ場経営者・従業員	0	0.0%	0	0.0%	3	3.0%	1	1.0%
パチンコ店経営者・従業員	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%
競輪・競馬・競艇場職員	0	0.0%	3	3.0%	2	2.0%	0	0.0%
その他レジャー施設職員	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%
旅行代理店経営者・従業員	5	5.0%	2	2.0%	4	4.0%	3	3.0%
タクシー運転手	7	7.0%	3	3.0%	6	6.0%	3	3.0%
美容室経営者・従業員	5	5.0%	2	2.0%	2	2.0%	3	3.0%
ガソリンスタンド従業員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%
その他サービス等の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	6	6.0%	1	1.0%
住宅関連	4	4.0%	5	5.0%	3	3.0%	5	5.0%
設計事務所所長・職員	1	1.0%	2	2.0%	1	1.0%	2	2.0%
住宅販売会社経営者・従業員	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	3	3.0%
その他住宅投資の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
企業動向関連	19	19.0%	19	19.0%	23	23.0%	19	19.0%
地域の産業構造上特色ある企業経営者・従業員	10	10.0%	10	10.0%	17	17.0%	5	5.0%
農林水産業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
食料品製造業	3	3.0%	6	6.0%	2	2.0%	1	1.0%
繊維工業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
家具及び木材木製品製造業	1	1.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
一般機械器具製造業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
電気機械器具製造業(精密機械も含む)	0	0.0%	3	3.0%	5	5.0%	1	1.0%
輸送用機械器具製造業	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	2	2.0%
その他製造業	1	1.0%	0	0.0%	4	4.0%	1	1.0%
非製造業	5	5.0%	0	0.0%	5	5.0%	0	0.0%
広告代理店従業員・新聞販売店[広告]店主	1	1.0%	4	4.0%	3	3.0%	4	4.0%
輸送業関係者	3	3.0%	3	3.0%	2	2.0%	6	6.0%
司法書士・経営コンサルタント・会計事務所職員等	3	3.0%	2	2.0%	1	1.0%	4	4.0%
コピーサービス業店員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他企業の動向を把握できる者	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
雇用関連	9	9.0%	8	8.0%	7	7.0%	8	8.0%
人材派遣会社社員・アウトソーシング企業社員	2	2.0%	6	6.0%	3	3.0%	3	3.0%
求人情報誌製作会社編集者	4	4.0%	0	0.0%	2	2.0%	3	3.0%
新聞社[求人広告]担当者	3	3.0%	2	2.0%	2	2.0%	2	2.0%
その他雇用の動向を把握できる者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

(単位：人 / %)

近畿		九州		全国合計	
100	100.0%	100	100.0%	600	100.0%
68	68.0%	72	72.0%	428	71.3%
32	32.0%	35	35.0%	198	33.0%
7	7.0%	10	10.0%	28	4.7%
0	0.0%	3	3.0%	13	2.2%
4	4.0%	4	4.0%	31	5.2%
4	4.0%	6	6.0%	32	5.3%
3	3.0%	4	4.0%	26	4.3%
2	2.0%	2	2.0%	12	2.0%
1	1.0%	1	1.0%	4	0.7%
2	2.0%	3	3.0%	17	2.8%
5	5.0%	0	0.0%	9	1.5%
3	3.0%	1	1.0%	24	4.0%
1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%
0	0.0%	1	1.0%	1	0.2%
8	8.0%	8	8.0%	61	10.2%
2	2.0%	2	2.0%	16	2.7%
4	4.0%	3	3.0%	22	3.7%
2	2.0%	3	3.0%	21	3.5%
0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
23	23.0%	23	23.0%	141	23.5%
2	2.0%	2	2.0%	11	1.8%
3	3.0%	1	1.0%	15	2.5%
4	4.0%	0	0.0%	14	2.3%
0	0.0%	3	3.0%	7	1.2%
0	0.0%	5	5.0%	8	1.3%
3	3.0%	2	2.0%	10	1.7%
1	1.0%	0	0.0%	3	0.5%
2	2.0%	2	2.0%	18	3.0%
3	3.0%	6	6.0%	28	4.7%
4	4.0%	2	2.0%	18	3.0%
1	1.0%	0	0.0%	2	0.3%
0	0.0%	0	0.0%	7	1.2%
5	5.0%	6	6.0%	28	4.7%
1	1.0%	2	2.0%	9	1.5%
2	2.0%	4	4.0%	17	2.8%
2	2.0%	0	0.0%	2	0.3%
23	23.0%	20	20.0%	123	20.5%
11	11.0%	13	13.0%	66	11.0%
0	0.0%	1	1.0%	1	0.2%
0	0.0%	3	3.0%	15	2.5%
2	2.0%	0	0.0%	2	0.3%
0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
3	3.0%	1	1.0%	4	0.7%
3	3.0%	4	4.0%	16	2.7%
0	0.0%	3	3.0%	6	1.0%
2	2.0%	1	1.0%	9	1.5%
1	1.0%	0	0.0%	11	1.8%
3	3.0%	3	3.0%	18	3.0%
2	2.0%	3	3.0%	19	3.2%
3	3.0%	1	1.0%	14	2.3%
0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4	4.0%	0	0.0%	6	1.0%
9	9.0%	8	8.0%	49	8.2%
5	5.0%	3	3.0%	22	3.7%
2	2.0%	2	2.0%	13	2.2%
1	1.0%	3	3.0%	13	2.2%
1	1.0%	0	0.0%	1	0.2%